

方程式・不等式

第1問 ☆☆☆

a, b は実数とする. 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が $0 < x < 1, 1 < x < 2$ の範囲に1つずつ解をもつ. このとき, 2次方程式 $x^2 + bx + a = 0$ は異なる2つの実数解を持つことを示しなさい.

また, そのうち大きい方の解のとり得る値の範囲を求めよ.

第2問 ☆☆

a は実数の定数とする. 2つの整式

$$f(x) = x^4 + (a + 2)x^3 + x^2 - (4a + 1)x + 9$$

$$g(x) = x^3 + ax^2 - 2ax + 3$$

について, 次の問に答えよ.

(1) $f(x)$ を $g(x)$ で割った商と余りを求めよ.

(2) $f(x)$ と $g(x)$ が1次以上の整式を共通の因数にもつような a の値を求めよ.

第3問 ☆☆☆☆

2以上の整式 k に対して, $f_k(x) = x^k - kx + k - 1$ とおく.

(1) $f_k(x)$ は $(x - 1)^2$ で割り切れることを示せ.

(2) n は2以上の整数とする. n 次多項式 $g(x)$ が $(x - 1)^2$ で割り切れるためには, $g(x)$ が定数 $a_1, a_2, a_3, \dots, a_n$ を用いて

$$g(x) = \sum_{k=2}^n a_k f_k(x)$$

の形に表されることが必要十分であることを示せ.

第4問 ☆☆☆

正の実数 a, b, c が $a + 5b + 7c = 12$ を満たすとする. このとき, 次の問いに答えよ.

(1) 実数 p, q, r, x, y, z に対して,

$$(px + qy + rz)^2 + (py - qx)^2 + (qz - ry)^2 + (rx - pz)^2$$

を因数分解せよ.

(2) 実数 p, q, r, x, y, z に対して, 不等式

$$(p^2 + q^2 + r^2)(x^2 + y^2 + z^2) \geq (px + qy + rz)^2$$

が成り立つことを示せ. また, 等号が成り立つのはどのようなときか.

(3) $\sqrt{a} + \sqrt{5b} + \sqrt{7c}$ の最大値を求めよ.

第5問 ☆☆☆

$\gamma = 1 + \sqrt{3}i$ とする. ただし, i は虚数単位である. 実数 a, b に対して多項式 $P(x)$ を

$$P(x) = x^4 + ax^3 + bx^2 - 8(\sqrt{3} + 1)x + 16$$

で定める. このとき, 以下の問いに答えよ.

(1) $P(\gamma) = 0$ となるように a と b を定めよ.

(2) (1) で定めた a と b に対して, $P(x) = 0$ となる複素数 x で γ 以外のものを全て求めよ.

第6問 ☆☆☆

θ は $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ の範囲の角とする.

(1) $\sin 3\theta = \sin 2\theta$ を満たす θ を求めよ.

(2) m, n を 0 以上の整数とする. θ についての方程式 $\sin 3\theta = m \sin 2\theta + n \sin \theta$ が解をもつときの (m, n) と, そのときの解 θ を求めよ.

第7問 ☆☆☆☆

n を正の整数とする.

(1) $x > y > 0$ とするとき, 次の不等式を証明せよ.

$$x^{n+1} - y^{n+1} > (n+1)(x-y)y^n$$

(2) $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^{n+1}$ と $\left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^{n+2}$ の大小を比較せよ.

第8問 ☆☆☆☆

p, q を正の実数とする. x の方程式

$$\log_{10}(px) \cdot \log_{10}(qx) + 1 = 0$$

が 1 より大きい解を持つとき, 点 $(\log_{10} p, \log_{10} q)$ の存在する範囲を座標平面上に図示せよ.

第9問 ☆☆☆

$p = \frac{2^{148} + 1}{17}$ は整数である. p は何桁の整数か答えよ.

ただし, $0.301 < \log_{10} 2 < 0.302$ である.

第10問 ☆☆☆

$a = \sin^2 \frac{\pi}{5}, b = \sin^2 \frac{2\pi}{5}$ とおく.

このとき, 以下のことが成り立つことを示しなさい.

(1) $a + b$ および ab は有理数である.

(2) 任意の自然数 n に対し $(a^{-n} + b^{-n})(a + b)^n$ は整数である.